

資産運用レポート：海外ファンドの投資銘柄（2020年版）

1 はじめに

今回の資産運用レポートでは、久々に海外ファンドの投資銘柄を取り上げます。

- ブランデス・インターナショナル・エクイティ・ファンド（BIIEIX）
- ファースト・イーグル・オーバーシーズ・ファンド（SGOVX）
- フィデリティ・シリーズ・イントリンシック・オポチュニティズ・ファンド（FDMLX）

ブランデス・インターナショナル・エクイティ・ファンドはブランデス社によって運用されています。ブランデス社は『投資のプロたち』にて「アメリカで最も成功した10社」として紹介されている名門投資会社です。

「バリュー投資の父」ベンジャミン・グレアムから、直々に手ほどきを受けたチャールス・H・ブランデスにより、1974年に設立されました。

ファースト・イーグル・オーバーシーズ・ファンドはファースト・イーグル社によって運用されています。ファースト・イーグル社は200年を超える歴史と経験を有する正統派の投資会社です。

長年にわたり運用に携わったフランス生まれのジャン・マリー・エベヤール氏は、渡米した際にベンジャミン・グレアムの著書やバークシャー・ハサウェイのアンニュアルレポートを読む機会を得て、バリュー投資をファンドの運用に取り入れました。

フィデリティ・シリーズ・イントリンシック・オポチュニティズ・ファンドはフィデリティ社によって運用されています。フィデリティ社は、大手投資会社として我が国でも名前を知られている存在です。

しかもファンドを運用しているジョエル・ティリングハスト氏は、フィデリティ最高のファンドマネジャーと称されています。かつて天才ファンドマネジャーとしてうたわれたピーター・リンチが「彼を採用すべき」と太鼓判を押した逸材です。

さて前口上はこの辺にして、実際の投資銘柄を見ていきましょう。